

## **【編集後記】**

前号において、「次号では、NIHU 愛知大学拠点政治外交アプローチ班の研究活動の一端をアップする予定である。東アジア冷戦状況の継続と帝国主義の「戦略的あいまい性」が「島」をめぐる諸問題の背景に厳然としてあることが解明されていくであろう」と予告したが、諸般の事情で編集作業に手間取っているため、若干発行遅れることになったことを、まず深くお詫びしなければならない。また、同じ政治外交班の文革研究プロジェクトの成果も取り纏め途中であるが、現在最終確認中であることも併せてお伝えする。本号はいずれにも厳密な査読を経て掲載許可を得た論考である。特集の特殊事情により発行引き延ばすのは何れにせよよいことではないので、電子ジャーナルの利便性に依拠しつつ発行することとなった。ICCS-NIHU では現在、政治外交の他、経済環境、文化、社会歴史の4つの研究グループでのアプローチがなされているが、それぞれのグループによる研究成果についても逐次公開していく予定である。〔規〕